

六年国語 学習の進め方

みなさんお元気ですか？

先週までの課題は、順調に進んでいますか？今週の課題は、5枚出しますね。

一日一回、国語の時間を作りましょう。

音読は、音読をします。読み方が分からない漢字があれば、ふりがなをふります。

教科書は、教科書に直接書きこみます。

ノートは、課題をノートに書いて考えましょう。学校が始まったらノートを集めます。

ノートは、次のように使います。

日付、学習プリントの題名、めあてを書きましょう。

新しい学習プリントに取り組む時には、新しいページから始めましょう。

五月一日

六年生国語①「詩を采しもう」

〈めあて〉

春の景色を想像しながら詩を読もう。

〈課題〉

(二)二つの詩をノートに書き写しましょう。

春の河 山村蒼鳥

たつぷりと

春は

小さな川々まで

あふれてゐる

あふれてゐる

課題は、番号と文を必ず書きます。

六年生国語⑪「時計の時間と心の時間①」（四十八～五十七ページ）

〈めあて〉

主張と事例に気をつけて、「時計の時間と心の時間」を読もう。

〈使うもの〉

教科書 ・ 国語のノート ・ 筆記用具

〈課題〉

(一) 四十八ページの絵を見て、「時間」と聞いて思うことがないかを書きましょう。**ノート**

例えば先生は…

時間割・時計・守ることが大切・本「モモ」…

(二) 「時計の時間と心の時間」を音読しましょう。**音読**

(三) 形式段落を、①～⑧まで、教科書に書きこみましょう。**教科書**

(四) 筆者の「主張」が書かれている段落はありますか。**ノート**

(五) 筆者があげている「事例」が書かれている段落はありますか。**ノート**

(六) 「時計の時間と心の時間」を読んで、考えたこと・思ったことを書きましょう。**ノート**

納得できた事例とその理由・自分の体験・読んで生まれた疑問…

……

⑬の授業の振り返り……

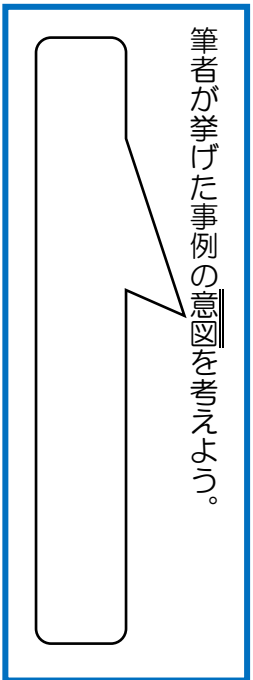
漢字スキル：

29日までにp.11～14まで
進めよう！

六年生国語⑫ 「時計の時間と心の時間②」 (四十八～五十七ページ)

〈めあて〉

筆者が挙げた事例の意図をききましょう。



〈使うもの〉

教科書 ・ 国語のノート ・ 筆記用具

〈課題〉

(一) めあてのひき出しに、意図の説明を書きましょう (六年生国語⑨・⑩を参考にしよう)。
ノート

(二) 「時計の時間と心の時間」を音読しましょう。
音読

(三) ③～⑥段落を音読しましょう。
音読

(四) それぞれの段落の事例のあげかたには、どんな持ちようがありますか。表にまとめましょう。
ノート

前回読みにくかった漢字や言葉は、読めているかな。

段落	持ちよう
③	身近でわかりやすい 感質的
④	
⑤	実験が少し高度な内容
⑥	すぐに試せたりは実験

自分が書きたい量に合わせて、表のはばを増やしてもOK!

(五) 筆者はなぜ、4つの事例をあげたと考えますか。それぞれの持ちようをひきまえて考えてみましょう。

ノート

六年生国語⑬ 「時計の時間と心の時間」③ (四十八～五十七ページ)

〈めあて〉

筆者の主張について、自分の考えをまとめよう。

〈使うもの〉

教科書 ・ 国語のノート ・ 筆記用具

〈課題〉

(一) 「時計の時間と心の時間」を音読しましょう。**音読**

(二) 六年生国語⑪の学習のことで、自分が書いた感想を音読しましょう。**音読**

(三) 教科書の筆者の主張が書かれている部分に、赤線を引きましょう。**教科書**

ノート

主張の段落から、筆者がみんなに伝えたい文を探そう！

(四) 教科書五十五ページの下の、ピンク色の3番の「発表の例」を音読しましょう。**音読**

(五) 「発表の例」を参考に、「時計の時間と心の時間」に対する、自分の考えをまとめよう。**ノート**

ノート

⑪の学習で書いた感想を使ってもいいね。

・どんな部分に納得したか／疑問をもったか

「この文章からそう思ったか」

「なぜそう思ったか(自分のおまかせね)」

・同じ感想を持つ仲間をさがそう。

学校が始まったら、
みんなで発表しあってみよう！

六年生国語⑭ 「時計の時間と心の時間④」 (五十七ページ)

〈めあて〉

主張と事例の関係を使って、自分の考えをまとめてみよう。

〈使うもの〉

教科書 ・ 国語のノート ・ 筆記用具

〈課題〉

- (一) 五十七ページの「関係をとりまわす」主張と事例」を音読しましょう。音読
- (二) 「郊外に住むか、都心に住むか」について、どちらか主張を決めましょう。ノート
- (三) どんな事例を使って説明しますか。ノート
- (四) 考えたことを、主張と事例の関係を使って、まとめてみよう。ノート

例えば、先生はこんな風を書いてみたよ。事例は、身近なものから特しゆなものへ、広げてみたよ。みんなの考えを、学校で出し合ってみよう！

主張	事例②	事例①	主張
方バインと考えます。	なアもすぐに行くことかてきます。 このよりの理由から、私は、都心に住む	友達の家にもすぐに行くことかてきます。 まらに、郊外へ行くことも難くありません。 せん。都心には、バスのターミナルや新幹線 の大きな駅があるので、自然が、いしく	私は、都心に住む方がいいと思います。 それは、まらに、場所へのアクセスが いいからです。 例えば、学校があることがほとんどです。 まらに、学校があることがほとんどです。

六年生国語⑮ 「話し言葉と書き言葉」 (五八・五九ページ)

〈めあて〉

話し言葉と書き言葉にはどのようなちがいがあるか考えよう。

〈使うもの〉

教科書 ・ 国語のノート ・ 筆記用具

〈課題〉

(一) 教科書五十八ページの上の段を読みましよう。**音読**

(二) ニつには、どのようなちがいがありますか。**ノート**

(三) 五十八ページの下の段を読みましよう。**音読**

(四) 五十九ページの上の段を読みましよう。**音読**

(五) 話し言葉と書き言葉の持ちようを、表にまとめてましよう。**ノート**

話し言葉	書き言葉
すぐに消えてしまふ(音声)	消えずに残る(文字)

同じような内容を、たてに並べて書くと、わかりやすくていいね。

(六) 手紙やメールでは、話し言葉で書くこともあります。

この表現の書き方には、どんな持ちようがありますか。**ノート**

(七) 家で、気さくにはるいじやをまてましよう。**ノート**